

瓊水

瓊のように清く 鉄のように強く 手をつなぎ
のびる北っ子

校長 田崎俊一郎



1年間のまとめ 修了式!

桜にはぴったりの言葉が添えられているものです。

令和7年度田平北小学校も本日修了式を迎えました。みんな一年間のまとめらしく、しっかりとした態度で修了証書を受け取りました。私からは、「今日は一年間のまとめ、終わりではなく、修める日である」という話をしました。一人一人に「この一年でできるようになったことは何か?」と、問いかけ、成長は日々当たり前、そしてできるようになったことの中にあるという話をしました。成長を実感し、見つめることが次の成長につながります。今日修了式の日ぜひ自分の成長をふり返ってほしいと思います。

話の後は、一年生代表の発表でした。一年前に入学した一年生はこの一年で大きく成長しました。堂々とした態度で発表する姿に成長を感じました。きっと来年度、更に力を付けてくれると思います。

「自律」「協働」「創造」の3つをめざしてスタートした令和7年度、子どもたちは毎日の学校生活の中で確実に成長し、力を付けることができました。「自律する力」

自律とは、自分の考えに基づいて行動をコントロールする力のことです。人から言われて行うのではなく、今やるべきとは何をしっかりと考え行動することをめざしてきました。特に学習面ではしっかりと予習をして学習に臨むことや ICT を活用した新しい学び方ができるように授業を工夫してきました。その取組の結果、児童が主体的に学びに向かう姿を数多く見ることができました。「学ぶのが楽しい」「学ぶのは自分自身である」という思いをもたせることが主体的に学びに向かうことへの原動力になります。児童自らが学びの中心となれるよう北小は今後も授業を工夫していきます。

「協働する力」

協働とはそれぞれのよさを生かしながら互いの立場を尊重しながら協力することです。学校生活の中ではこの協働の場面が数多くあります。授業はもちろん、係活動や各種の当番活動、学校行事などです。協働する相手としては学級の児童、学年、他学年や地域の方などのさまざまです。いろいろな立場の人と協働する経験は、多様化する現代社会では不可欠な力となります。今年度は、授業の中で協働して解決する場面を位置づけたり、縦割り活動による異学年との交流活動を行ったり、さらに福祉や歴史に関わる地域の方の交流活動などを積極的に位置づけたりしてきました。多くの機会の位置づけにより、互いの思いを感じることの大切さや立場の理解、思いやる心、相手意識など多くのことを学ぶ機会となりました。「一人でできないことでも、みんなであれば大丈夫」を合言葉として、今後も協働する機会を多く設けていきます。

「創造する力」

創造する力とは、既存の知識や経験を活かしたり、結び付けたりして新しい見方や考え方を発見することです。混迷する現代社会では既存の知識では解決できない事象が数多く起きていることを考えれば、これからの社会を生き抜く子どもたちにとっては創造する力はとても大切なものです。今年度は、子どもたちの発想を生かした活動のできる限り教育活動に位置付けることをしてきました。自主的な挨拶運動の展開、6年生を送る会での遠足の企画と運営など、自分たちの発想を生かしていこうとする積極的な姿勢が見られてきました。先に述べた自律の力と相まって、創造の視点が見られたことは今後につながるものです。

保護者・地域の皆様にはこの一年間本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。今年度は、昨年度の150周年を受けて、子どもたちの未来を見据えた目標を掲げ教育活動を展開してきました。来年度は更に保護者の方・地域の方との連携を深めて、より協働的な取組を展開したいと考えております。来年度も引き続き本校教育活動への変わらぬご協力をよろしくお願いいたします。

